

第5章 子どもの読書活動推進のための取組

1 具体的取組

【施策1】 家庭における読書活動推進

(1) 読書に親しむきっかけづくり

家庭での読書習慣を形成するため、最も身近な存在である保護者が子どもの読書活動の重要性を更に理解し、積極的に読書活動に関わるような働きかけを行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①ブックスタート事業	10か月児健康診査に訪れた乳児と保護者を対象に、絵本の配付とブックスタートボランティアによる絵本の読み聞かせを行います。また、ボランティアに対する研修を継続して実施します。	こども育成課	継続
	第1次計画期間中に出版された本を中心にした赤ちゃん絵本を周知します。	社会教育課	拡充
②乳幼児向けおはなし会	図書館ごとに、ボランティアと協力して乳幼児向けおはなし会を継続して実施するとともに、発達段階に応じた読み聞かせの相談に積極的に対応します。 (指定管理者)	社会教育課	継続
③図書館利用の機会拡大	図書館ごとに、幼い子どもを連れた保護者が周囲に気兼ねなく図書館を利用できるような時間帯を毎週設定し、幼い頃からの読書習慣の形成機会を拡大します。(指定管理者)	社会教育課	継続

(2) 家庭の読書習慣の形成

家庭における読書活動推進の具体的な取組として、読書を通じた家族のコミュニケーションを深めることを目的とした家読(うちどく)を一層拡充します。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①家読(うちどく)プロジェクト	<p>図書館ごとに、子どもの本にまつわる家族の思い出「大事な一冊家族エピソード」を募集し、館内掲示などで、家読の広報を図るとともに、家族の絆を深め、家庭での読書習慣の形成と継続を図ります。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	継続
	<p>児童生徒が自ら選んだ本を中心に、新たな「家読おすすめ本」を選定し、ブックリストの作成・配布を行い、家読の広報と利用拡大を図ります。</p>	社会 教育課	継続
	<p>「家読おすすめ本」を活用し、「リレーうちどく※」などの新しい取組を実施します。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	新規
	<p>保護者が家庭で読み聞かせた本を記録するための「読書記録」用紙を、新たに「うちどくノート」として図書館ホームページで提供するとともに、図書館で印刷版を配布し、家庭での読書活動推進の動機付けに努めます。</p>	社会 教育課	拡充
	<p>図書館ごとに、家読おすすめ本の展示コーナーを常設して、ブックリストの配布と本の貸出しを行い、家読の推進に努めます。</p> <p>(指定管理者)</p>	社会 教育課	継続
	<p>家庭に子どものための本棚やコーナーがあるなど、常に子どもの身近に本がある環境を実現できるよう、家読の広報を図ります。</p>	社会 教育課	継続

【施策2】 地域における読書活動推進

(1) 図書館の取組

◆子どもの読書活動を推進するための環境整備

図書館は地域における本や読書の中心的な役割を担っており、子どもが自由に本を選び、読書に親しむ環境が期待されています。

また、ICT環境の変化を踏まえ、全ての子どもが紙や電子といった媒体に関わらず、読書を楽しむことができるよう、図書館の環境整備に取り組みます。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①児童書の充実・整備	蔵書の中核を成すような優れた児童書を中心に、新しく出版された本の中から、魅力的な絵本や物語、最新の情報が掲載された本など、今を生きる子どもにふさわしいものを継続して選定し、未来を生きる子どもたちへ継承します。	社会 教育課	継続
	長年読み継がれて、激しい汚破損が見受けられる基本図書の買い替えを行い、常に子どもの読書意欲が持続するよう努めます。	社会 教育課	継続
②読書環境の整備	図書館ごとに、全ての子どもが読みたい本と出合えるよう、年齢やテーマを工夫した展示コーナーを充実させ、子どもが自主的に本を選べる読書環境を整えます。 (指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、中学生や高校生が興味を持つようなテーマに関する本の展示を定期的実施するなど、中高生コーナーの充実に努め、中学生や高校生が気軽に図書館に足を運び、本を借りたくなるような環境を整えます。(指定管理者)	社会 教育課	拡充

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
②読書環境の整備	図書館ごとに、年齢層別のブックリストを改訂するとともに、リストに掲載された本の展示・特集コーナーを設置し、本選びに迷う子どもと保護者が本を選びやすい環境を整えます。(指定管理者)	社会教育課	拡充
	図書館ごとに、子どもと保護者を対象としたアンケート調査を毎年継続して実施し、アンケート調査結果を参考に、子どもの読書活動を一層充実するように努めます。(指定管理者)	社会教育課	継続
③デジタル社会に対応した読書環境の整備	絵本や物語、知識を習得するものなど、子どもの成長段階に合わせた電子書籍を拡充します。	社会教育課	継続
	GIGA スクール構想の実現による1人1台端末を活用して、各学校の読書の時間などで電子書籍を活用できるよう、図書館の電子書籍サービス「かすかべ電子図書館」を各学校名で団体登録するなど利便性の向上に努めます。	社会教育課	新規
	小・中・義務教育学校の1年生などを対象に、学校を通して「かすかべ電子図書館」の利用登録を行います。	社会教育課	拡充
	郷土への理解を深め、郷土愛を育むため、郷土を題材とした昔話や市内の子どもたちの作品をデジタル化して図書館のホームページなどで公開します。	社会教育課	拡充
	各学校を通じて、学校図書館に「かすかべ電子図書館」のポスターを掲示するなど、更なる周知に努めます。(指定管理者)	社会教育課	新規

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
④子どもの読書活動の普及啓発と広報の推進	図書館ホームページや市公式 SNS を積極的に活用し、子ども向けの読書活動推進のための取組などの広報を行います。また図書館ごとに、「図書館だより」を毎月発行して、図書館や関連施設などで配布し、情報発信を行います。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、保護者が子どもの読書活動に理解と関心を持つような本を展示・紹介する「子育て応援コーナー」を設置します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	毎年10月を図書館のファミリー読書月間とし、子どもと保護者の読書活動の推進を図ります。また、期間中には、図書館ごとに、家読活動を支援するための取組を実施します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館に対し、より親しみを持ってもらうため、「市立図書館ポスターコンクール」を実施します。(指定管理者)	社会 教育課	新規



季節のおはなし会
(武里図書館)



子どもによる本の紹介展示
(庄和図書館)

◆子どもが読書に親しむ機会の提供・充実

子どもの読書への関心を高めるため、子どもの発達段階に応じた様々な取組を行うとともに、子どもの視点を取り入れた新しい取組や、読書バリアフリー推進計画を踏まえた多様な子どもたちの読書機会の確保を図ります。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①図書館利用促進のための取組	図書館ごとに、子どもの年齢的特性や地域の実情を踏まえ、子どもと保護者を対象とした取組の更なる充実に努めます。(指定管理者)	社会教育課	継続
	「図書館を使った調べる学習コンクール」など、子どもたちの調べ学習や読書の成果の情報が発信される機会を拡充し、図書館利用の促進を図ります。(指定管理者)	社会教育課	継続
	インターネット環境が身近にある子どもたちのため、図書館システムと連動した読書推進機能を活用します。(指定管理者)	社会教育課	継続
	図書館のホームページからの所蔵検索が一層容易にできるような新しい機能の充実を図ります。(指定管理者)	社会教育課	新規
	子どもの読書活動の成果を発表する機会を積極的に設け、子どもの読書意欲の継続に努めます。(指定管理者)	社会教育課	拡充
	図書館ごとに、「子ども読書の日」と「文字・活字文化の日」から始まる読書週間に関連した取組をそれぞれ実施し、子どもに読書のきっかけを与え、子どもの読書活動を更に推進します。(指定管理者)	社会教育課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①図書館利用促進のための取組	自由研究のアイデアカード作成や読書感想文の書き方講座など、子どもの自主的な学習活動を支援し、多様な学習機会の提供に努めます。(指定管理者)	社会 教育課	新規
②おはなし会の実施	図書館ごとに、ストーリーテリングを中心とした年齢別のおはなし会を毎週開催します。おはなしの世界を想像して楽しむ経験を通し、子どもを自主的な読書活動に導き、生涯にわたって読書習慣を身につけるきっかけづくりを支援します。(指定管理者)	社会 教育課	継続
③多様な子どもたちの読書機会の確保	点字つき絵本、マルチメディア DAISY 図書、外国語の本など、多様な子どもたちのための本を拡充します。	社会 教育課	継続
	障がいのある子ども向けの DAISY 図書※、マルチメディア DAISY 図書や、母語が日本語以外の子ども向けの外国語の本など、種別資料リストを作成し、図書館ホームページで公開します。(指定管理者)	社会 教育課	新規
	リーディングトラックなどの読書補助具を配置し、視覚障がい者等の読書を支援します。	社会 教育課	拡充
	障がいなどの理由で図書館へ来館するのが困難な子どもの関連施設などへ団体貸出を行います。(指定管理者)	社会 教育課	新規
	障がい者や母語が外国語の子どもにも分かりやすいよう、やさしい日本語やピクトグラムを使った利用案内(LL版)を作成します。(指定管理者)	社会 教育課	新規

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
③多様な子どもたちの読書機会の確保	点字図書館、サピエ図書館※、国立国会図書館など、録音・点字資料などのサービスを利用できる施設の情報を広報し、視覚障がい者等がより専門的で多様なサービスを受けられるように努めます。 (指定管理者)	社会 教育課	新規
④子どもの視点に立った読書活動	図書館ごとに子ども司書講座を開催し、家庭や学校において読書のリーダーとして活躍する子どもを養成します。 また、講座を修了した子ども司書の読書意欲が継続するような活躍の場を設けます。(指定管理者)	社会 教育課	継続
	中学生や高校生を対象としたビブリオバトルを毎年実施し、子どもの発達段階に合わせた読書活動を推進します。 (指定管理者)	社会 教育課	継続
	図書館ごとに、中学生や高校生など同世代のつながりを一層活かし、図書館の利用を拡大するため、ボードゲームなどの新しく、より身近な取組を実施します。 (指定管理者)	社会 教育課	新規
	図書館ごとに、子ども自身が選ぶおすすめ本や作成した POP を紹介する機会を設け、同世代の子どもの読書の幅を広げることに努めます。(指定管理者)	社会 教育課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
⑤ボランティア等の支援・育成	学校での読み聞かせ活動を支援するため、各学校に読み聞かせ用ブックリストを配布します。	社会教育課	継続
	学校などで読み聞かせ活動に関わるボランティアを支援・育成するため、要望に応じて読み聞かせ養成講座などの講師派遣を行います。	社会教育課	継続
⑥学校等との連携・協力	団体貸出、学校おはなし会、ブックトークの効果的な広報を実施し、学校と連携した児童生徒の読書活動の充実に努めます。	社会教育課	継続
	団体貸出サービスの利用アンケート調査を実施して学校の現状や要望を把握し、団体貸出用の本を充実します。	社会教育課	継続
	司書職員による中学校等の学校図書館支援の機会などを活用し、団体貸出の利便性向上に努めます。	社会教育課	継続



「子ども司書講座」
(庄和図書館)

(2) 子育て支援・社会教育施設等の取組

児童センターなどの施設では、施設の状況に応じ、児童書の設置や読み聞かせなどの取組を継続して行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①児童発達支援センターの取組	日々の療育に絵本などを取り入れるなど、本を楽しむ機会の更なる充実を図ります。	障がい者支援課	継続
②児童センターの取組	読み聞かせ事業の実施や、読書に通じる活動を取り入れた事業の実施を継続します。	こども育成課	継続
③子育て支援センターの取組	子どもと保護者が気軽に本と触れ合うことができるよう、引き続き児童書を配架します。	保育課	継続
④放課後児童クラブの取組	各施設に児童書などを継続して配架します。	こども育成課	継続
⑤放課後子ども教室の取組	学校の協力のもと、学校図書館などで自由教室を実施することで、子どもが自ら本を手にとれる環境を確保し、読書を推奨します。	こども育成課	継続
⑥公民館の取組	児童書を継続して配架するとともに、公民館によって実施している読み聞かせに関する事業の継続・充実に努めます。また、実施していない公民館では、子育てサロンなどで読書活動推進のための企画を検討します。	中央公民館	継続
⑦地域文庫の取組	効果的な広報手段を検討し、地域の子どもたちの身近な読書活動の場である地域文庫活動への協力を努めます。	社会教育課	継続
	地域文庫からの要望に応じ、団体貸出のための児童書の充実を図ります。	社会教育課	継続

【施策3】学校等における読書活動推進

(1) 学校の取組

子どもが一日の大半を過ごす学校では、本と触れ合う多くの機会があり、様々な取組を通して、子どもの読書活動をさらに推進します。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
①学校の取組	12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置を継続し、11学級以下の学校にも積極的に配置していく方針です。	指導課	継続
	学校の特色を生かして読書週間や読書月間の取組を工夫し、本への興味関心を高めたり読書の幅を広げたりすることができるように努めます。	指導課	継続
	読書の時間を工夫することで、読書の習慣化を図ります。	指導課	継続
	様々な教科と読書を関連付けた学習を展開し、児童生徒の読書生活が充実するように努めます。	指導課	継続
	学校の特色を生かした子ども同士の取組の読書活動を継続して実施します。	指導課	継続
②学校図書館の取組	本の貸出冊数や人気の本などを調査し、各学校の実態に応じて魅力的な学校図書館づくりを工夫することで、児童生徒の学校図書館利用率を高めることができるように努めます。	指導課	継続
	国語科や総合的な学習の時間など、学習の場として使いやすい学校図書館づくりに努めます。	指導課	継続
③学校図書館の図書整備	学校図書館の蔵書冊数は、おおむね順調に伸びており、引き続き学校図書館の充実を図ります。	教育 総務課	継続

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
③ 学校図書館の図書整備	学校図書館図書標準に留意しながら、現状にそぐわなくなった内容の本や、使用に耐えられなくなった本などについて蔵書の更新を行い、児童生徒の利用に役立つ図書の整備に努めます。	教育 総務課	継続
④ 学校図書館支援員の配置 (小学校・義務教育学校(前期課程) 図書館)	学校図書館支援員の適正配置に努め、学校図書館の充実を図ります。	教育 総務課	拡充
	学校図書館支援員が学校と連携して読書に関わるイベントや選書の支援などを行います。	教育 総務課	継続
	司書職員が学校図書館支援員への基本研修を定期的実施するとともに個別相談に随時対応し、更なるスキルアップのサポートを行います。	社会 教育課	継続



小学校図書館
「読書の木」
(粕壁小学校)



小学校図書館
「たくさん本をよんで、しおりをゲット!」
(上沖小学校)

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
⑤ 司書職員の訪問支援 (中学校・義務教育学校(後期課程) 図書館)	司書職員が支援を行っている体制を活用し、学校と連携して読書郵便などの複数校にまたがる読書活動を図ります。	社会教育課	継続
	生徒が自発的に行う読書活動や、読書活動を広める取組の企画を支援するため、学校と連携して生徒のブックトーク実施やPOP作成などを推進するよう努めます。	社会教育課	継続
	学校と連携して図書委員会活動に積極的に協力し、読書好きな生徒の育成に努めます。	社会教育課	継続
	学校と連携して図書館クイズなどの読書意欲向上のための取組を実施します。	社会教育課	継続
	「自由研究の本の探し方」など、子どもが身近に感じるテーマのパスファインダー※を作成し、情報の探し方や集め方を通して生徒の主体的な学習活動を支援します。	社会教育課	新規
	学校の掲示板コーナーなどを利用し、新着図書などの情報を広報します。	社会教育課	継続
	各学校で実施している取組などに関する情報を集約し、情報共有を図ります。	社会教育課	新規



中学校図書館の「展示コーナー」
(緑中学校)



中学校図書館の「展示コーナー」
(春日部中学校)

(2) 幼稚園・保育所(園)の取組

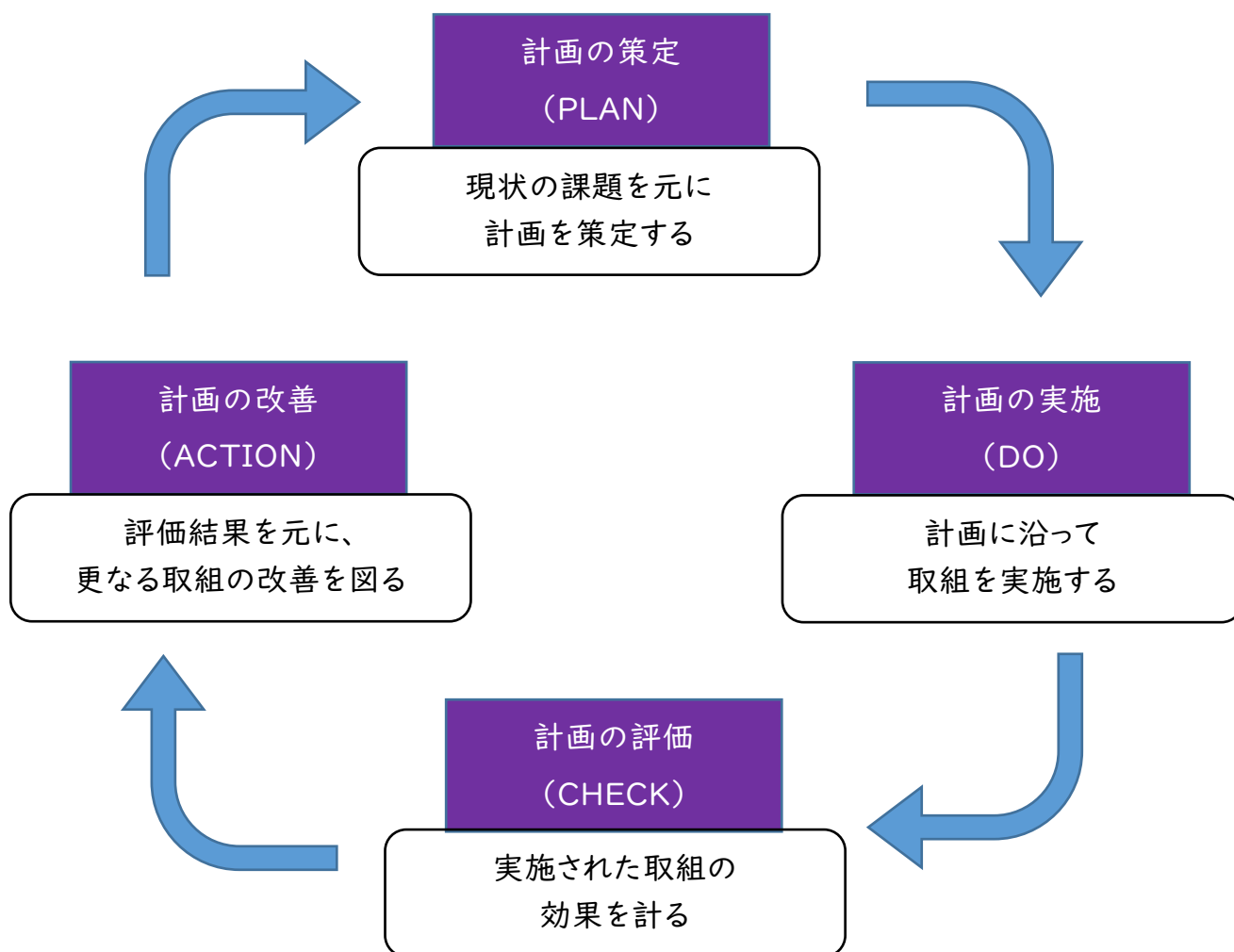
幼稚園や保育所(園)では絵本の読み聞かせなどを通して、子どもが絵本や物語に親しむ活動を継続して行います。

具体的取組	事業内容	担当課	今後の展開
① 私立幼稚園の取組	園児がより読書活動を楽しめるよう、大型絵本などの団体貸出を継続して活用します。	保育課	継続
② 公立保育所の取組	絵本・紙芝居などを保育所間で貸し借りするなど、資源を有効に活用できるようにし、絵本活用の充実を図ります。	保育課	継続
	保育の中で絵本の活用の機会を多く持つとともに、保育士の読み聞かせスキルアップに努めます。	保育課	継続
③ 民間保育園の取組	園児がより読書活動を楽しめるよう、大型絵本などの団体貸出を継続して活用します。	保育課	継続

2 計画の進捗管理

春日部市立図書館運営審議会において、進捗状況の把握・分析・評価を行います。

PDCA サイクルの考えに基づき、毎年度、各取組の進捗状況により、取組や成果の達成状況について点検や評価を行い、適宜改善をしながら、より効果的な計画となるように努めていきます。



3 数値目標

具体的取組の進捗管理のため、施策の柱となる4つの数値目標を設定します。

(1) 家読（うちどく）プロジェクト参加人数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
127人		280人

(2) 図書館の児童書貸出冊数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
311,542冊		330,000冊

(3) 子ども向けおはなし会参加人数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
1,092人		1,800人

(4) 図書標準達成校数

令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
31校		34校

4 成果指標

計画全体の進捗管理のため、読書アンケート調査の結果に基づく2つの成果指標を設定します。なお、各学年には該当する義務教育学校の児童生徒を含みます。

(1) 読書が好きな子どもの割合

	令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
小学2年生	85.5%		90.0%
小学5年生	80.5%		85.0%
中学2年生	73.6%		76.0%

(2) 1か月に読んだ本が「0冊」の子どもの割合（不読率）

	令和4年度 実績値	⇒	令和10年度 目標値
小学2年生	5.7%		4.0%
小学5年生	13.5%		8.0%
中学2年生	19.5%		17.5%



ちいさい子のおはなし会
(中央図書館)